

* 他人事ではない「認知症」 *

最近、新聞やテレビでよく聞くワード、「認知症」！！
以前は、「呆け」や「痴呆」と言われていましたが、
現在、この言葉は使われていません。

「認知症」は「**病気**」であって、
単なる「もの忘れ」や「年のせい」ではないんです！
今回は、認知症を引き起こす病気（その②）についてご紹介します。



□認知症を引き起こす病気（その②）

「レビー小体病」

- ・症状の変動が大きい
- ・子どもや動物、昆虫など生々しい幻覚が現れる（幻視）
- ・手足の動きが鈍くなり、転びやすくなる（パーキンソン症状）
- ・表情が硬くなってくる
- ・甘いものを好んで食べるようになる



認知症は、**早期診断・早期発見**が大切！！
最近様子がおかしいと思ったら、そのままにせず
“かかりつけ医”の先生に相談しましょう。

「認知症」について学びませんか？

自分のために、地域のために認知症について学びませんか？

認知症勉強会・認知症サポーター養成講座開催中です！

お申し込みは【**串間市社会福祉協議会（担当：深江） ☎72-6943**】まで♪



介護保険の目的は「自立支援」です！！

介護保険は、サービスを使うことによって、高齢者のみなさんが
「**元気！**」になることを応援するものです！

「**介護保険にお世話になる**」のではなく、

「**介護保険をつかって元気になる！**」を合言葉に、

いつまでも住み慣れた自宅で生活できるようにしましょう♪”

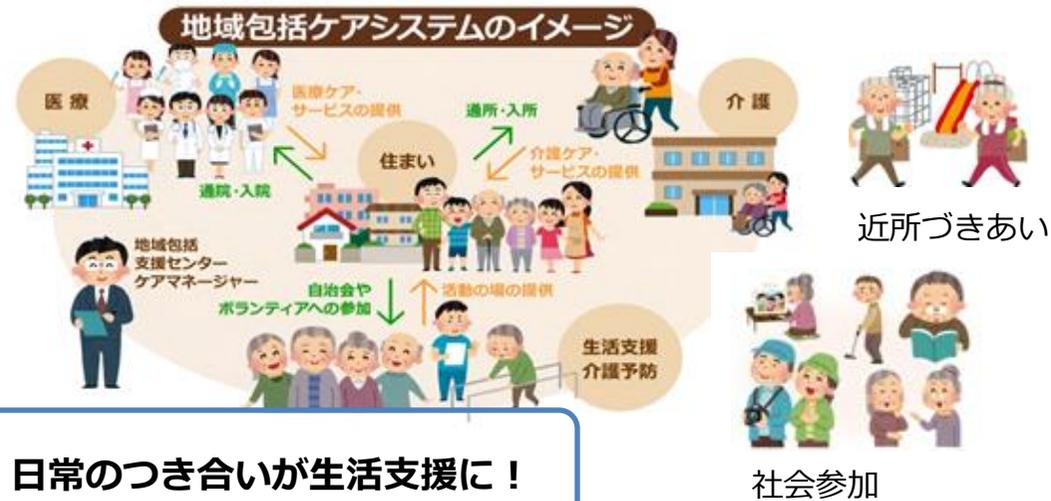


* かけがえのない地域づくり *

介護保険ができて、高齢者と地域の暮らしの場に変化が…。



- ① 介護保険前は、わずかな「介護サービス」しかなかった。
しかし、地域には「住民同士で支え合う多様なつながり」があった。
- ② 気づけば「制度・サービス」は整ったけれど、介護サービスが中心になり、支え合うつながりがみられなくなってきた。
- ③ これからは、子供も大人も高齢者もみんな一緒に支え合う地域に！！



日常のつき合いが生活支援に！

ご近所とのお茶のみや様々な活動への参加は、お互いに気にかけていたり、自然に支えたり支え合ったりして、多様な生活支援を生み出しています。
日常のつき合いは、孤立防止だけではなく、仲間同士の生活支援につながります♪

串間にあったらいいね！

地域にあったらいいね！と思うものは、すでに住民のみなさんも気づいていることが多いと思います。まずはできている活動から考えて**あったらいい**という活動に取り組むきっかけづくりを一緒に考えてみませんか？
その活動が、まさに**地域づくり**につながります♪

【ご連絡先】串間市社会福祉協議会 Tel 72--6943
生活支援コーディネーター（担当 鍋倉）

